

第161号

2023.5
(令和5年)

ひこね 市議会だより

令和5年2月定例会

(2月27日～3月24日)

- 2月定例会で決まったこと …… 2～8
- 個人質問 …… 8～17
- お知らせ …… 18～20



4年間ありがとうございました

第21期彦根市議会議員

2月定例会の結果

2月定例会の結果

3月24日（金）に閉会した2月定例会の結果についてお知らせします。
 予算関係17件、条例関係11件、その他議案2件を原案のとおり可決しました。
 また、委員会議案3件を可決、請願2件を採択しました。

2月定例会 議案の審議結果

会期：2月27日(月)～3月24日(金)

■全員賛成で可決した議案

項目	番号	件名	
議案	2	令和5年度(2023年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	
	3	令和5年度(2023年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	
	4	令和5年度(2023年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	
	5	令和5年度(2023年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	
	6	令和5年度(2023年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計予算	
	7	令和5年度(2023年度)彦根市病院事業会計予算	
	8	令和5年度(2023年度)彦根市水道事業会計予算	
	9	令和5年度(2023年度)彦根市下水道事業会計予算	
	11	井伊直弼公の功績を尊び茶の湯・一期一会の文化を広める条例案	
	12	彦根市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案	
	13	彦根市特別職報酬等審議会条例等の一部を改正する条例案	
	14	彦根市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例案	
	15	彦根市新型コロナウイルス感染症対策支援基金の設置、管理および処分に関する条例の一部を改正する条例案	
	16	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	
	17	彦根市放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	18	彦根市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	19	彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	
	20	彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	
	21	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	
	22	損害賠償の額の決定につき議決を求めることについて	
	23	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第11号)	
	24	令和4年度(2022年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	25	令和4年度(2022年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第4号)	
	26	令和4年度(2022年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	27	令和4年度(2022年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	
	28	令和4年度(2022年度)彦根市病院事業会計補正予算(第5号)	
	29	令和4年度(2022年度)彦根市水道事業会計補正予算(第5号)	
	30	令和4年度(2022年度)彦根市下水道事業会計補正予算(第2号)	
	委員会議案	2	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案
		3	彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案
請願	1	精神障害者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出を求める請願書	

■議会に提出された報告

項目	番号	件名	項目	番号	件名
報告	1	損害賠償の額の決定について	報告	3	損害賠償の額の決定について
	2	和解および損害賠償の額の決定について		4	損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川	角井	長崎	堀口	北川	辻	小川	和田	野村	森野	森田	小川	矢吹	赤井	上杉	中野	林	谷口	伊藤	馬場	黒澤	安澤
				睦子	英明	任男	達也	元気	真理子	隆史	一繁	博雄	克彦	充	吉則	安子	康彦	正敏	正剛	利幸	典隆	容子	和子	茂樹	勝
議案	1	令和5年度(2023年度)彦根市一般会計予算	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	彦根市個人情報の保護に関する法律施行条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会議案	1	彦根市議会個人情報の保護に関する法律施行条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	2	医療費(通院費)の窓口負担軽減に関する請願書	採択	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●



当初予算の主な事業

福祉医療費助成事業

7億3,123万9千円

うち子ども通院医療費助成の拡充分

6,327万9千円

令和5年4月診療分から、小学6年生までの子どもの通院医療費を助成するために必要となる経費です。



予防接種事業

4億8,726万3千円

うち9価ヒトパピローマウイルスワクチンの接種分

7,099万3千円

うち造血幹細胞移植等によるワクチン再接種費用助成分

26万1千円

感染の恐れのある疾病の発生とまん延を防止する予防接種の実施に必要な経費です。

また、HPVワクチンについて、9価ヒトパピローマウイルスワクチンの接種を新たに実施するために必要となる経費です。

さらに、新たに造血幹細胞移植等の治療で、今までに受けた定期予防接種の免疫が低下または消失し、任意で再接種を受ける方の再接種費用を助成するために必要となる経費です。

※9価ヒトパピローマウイルスワクチンとは、HPVワクチンの種類です。これまでは、2価HPVワクチンと4価HPVワクチンの2種類がありましたが、9価が追加されました。

民間保育所施設整備事業

3億4,630万2千円



保育環境の向上を図るため、施設整備等を実施する民間保育所に対し助成をするために必要な経費です。

中学校管理運営事業

1億1,441万4千円

うち新JIS規格学習機の整備

1,248万2千円

学習者用端末の導入により、机上が狭あいとなっている学習機を、天板の大きい新JIS規格のものに年次的に更新するために必要な経費です。

学校給食費食材価格高騰対策事業

(小学校分) 2,674万4千円

(中学校分) 1,373万3千円

世界的に食糧価格が高騰しているなか、給食の安定供給と、保護者負担の軽減を図ることを目的に、保護者が負担する学校給食費では賄うことができない給食食材の値上がり分を、公費で負担するために必要となる経費です。

当初予算の主な事業

特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理事業 うち彦根城天守耐震補強工事関係

7,134万5千円
3,723万5千円

特別史跡「彦根城跡」内にある国宝・重要文化財建造物の適切な維持管理と活用を図る目的で、彦根城天守の耐震補強工事を行うために必要となる経費です。



彦根市スポーツ・文化交流センター整備事業

1億8,865万7千円



※令和4年6月時点

スポーツと文化がつながる新しい市民交流の拠点であるプロシードアリーナHIKONE（彦根市スポーツ・文化交流センター）について、駐車場等の外構工事を実施するために必要となる経費です。

ごみ焼却場整備事業

14億6,316万4千円

長寿命化計画に基づき、ごみ焼却施設の大規模修繕（令和3年度～令和6年度）を行うために必要となる経費です。

また、長寿命化工事期間中に生じた焼却しきれない可燃ごみの一部を外部搬出し、処理するために必要な経費です。

（主なもの）

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ・ごみ焼却場長寿命化改修工事 | 11億7,810万円 |
| ・ごみ焼却場長寿命化改修工事にかかる施工管理委託 | 1,267万2千円 |
| ・可燃ごみ外部搬出処理委託料 | 2億6,631万2千円 |



金亀公園整備事業

3億2,169万3千円

図書館横の駐車場拡張に必要な設計、測量の委託、連絡橋周辺の園路整備、三ノ丸橋の撤去、市道尾末町2号線の道路改良などのために必要となる経費です。

（主なもの）

- | | |
|---------|---------|
| ・設計等委託料 | 1,100万円 |
| ・測量等委託料 | 175万円 |
| ・工事請負費 | 3億787万円 |

近江鉄道沿線地域公共交通再生事業

6,930万2千円



近江鉄道沿線の5市5町等が参加し、近江鉄道線の今後のあり方等を検討する近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会の運営費や、近江鉄道線の輸送の安全を確保するために必要となる経費です。

また、近江鉄道線の上下分離に向け設立された一般社団法人近江鉄道線管理機構の運営に必要となる経費です。

(内訳)

- ・近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会負担金 5,750万8千円
- ・近江鉄道線管理機構運営負担金 1,179万4千円

まち・ひと・しごと妊娠出産包括支援事業のうち 子育て支援アプリの導入

185万9千円

子育て家庭の育児負担の軽減を図る目的で、子育て支援アプリおよびオンライン予約サービスを導入するために必要となる経費です。



予算常任委員会

令和5年度の当初予算案を可決

予算常任委員会は、3月10日(金)、13日(月)、14日(火)、20日(月)に委員会を開催し、17件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第1号、議案第2号、議案第3号、議案第4号、議案第5号、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号、議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第29号、議案第30号

【主な質疑】

<議案第1号に対して>

○ふるさと応援寄附事業について

Q 新たな返礼品の内容は。

A 一例として、観光客が使えるキャッシュレス決済で検討している。

○花火フェス開催事業について

Q 開催時期や開催場所については。

A 夏から秋にかけて、松原を中心に、音楽と花火を融合して実施を考えていると主催者から聞いている。

○中学校水泳授業民間活用事業について

Q 活用する民間プールと送迎の方法は。

A 5つの民間施設と協議の結果、3施設で

受け入れ可と回答をもらっている。
50人乗りの大型バス2台での送迎を考えている。

【主な討論】

<議案第1号に対して>

反対 国スポへの大きな投資による財政難に対する再建の見通しが立っていない。農業や商工業など地域の力を生かす方向で経済を立て直してこそ若い世代が移り住むまちになる。

中学卒業までの医療費助成や学校給食の無償化の実現のため、一刻も早く財政を立て直すべきであり、反対する。

賛成 限りある財源の中、リセットの視点で徹底した事業見直しがなされ、市民の安心安全を最優先に編成されており、今考えられる最適な予算だと考えることから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

請願第2号は採択、議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会は、3月15日(水)に委員会を開催し、1件の請願と3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第16号、議案第21号、議案第22号
- ・請願第2号

【主な討論】

○請願第2号に対して

賛成 全国どこに住んでも同じように、子どもへの支援は平等であるべきだと思っているが、本市と身近な近隣市町と比べると医療費格差を感じる。住んでいる者からすれば何とかして欲しいと強く思っている。彦根からも何度も滋賀県に対して医療費無料化について要望しているが、なかなか実現できない状

況である。

特に今、経済格差が広がって、貧困格差が広がっているという状況の中で、医療は子どもの命に関わる問題。市長はじめ前向きに取り組んでいることは重々承知しているが、1日も早く、もう一步でも早く、多くの市民の願いである中学校卒業までをめどに、ぜひ皆さんの声をあげていただきたいと思っている。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第2号は採択

企画総務消防常任委員会

議案第11号 「井伊直弼公の功績を尊び茶の湯・一期一会の文化を広める条例案」等、6件の議案を可決

企画総務消防常任委員会は、3月16日(木)に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第10号、議案第11号、議案第12号、議案第13号、議案第14号、議案第15号

【主な質疑】

○議案第11号に対して

- Q 一期一会の精神の現実化の具体例は。
- A 例えば、総合教育会議等で条例の趣旨を共有しながら進める等、市民を含め一体となって一期一会の文化を広めていきたいと考えている。
- Q 茶の湯の歴史、伝統様式の大切さをどのように市民へ啓発するのか。
- A 学校教育や観光、文化財等、庁内の関係部局で話し合い、連携して進めていく。

○議案第12号に対して

- Q 政務活動費の改正の理由として「物価高騰により適切な政策調査研究活動に影響するなどの観点から」とあるが、物価高騰以外の理由は。
- A 一つは令和元年10月に消費税率が8%から10%に改定されたことである。平成26年4月1日に消費税率が5%から8%に改定された際にも改正している。また、3年前の報酬審議会で引き上げの答申があったが、当時新型コロナウイルス感染症の拡大のため改正の時期を見極めていた。今回の報酬審議会では引き上げる答申があったことが理由である。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

精神障害者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出を求める請願を採択

福祉病院教育常任委員会は、3月17日(金)に委員会を開催し、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・請願第1号

【主な質疑】

- Q 身体・知的障害者の方には、どのような交通運賃割引制度があるのか。
- A JRでは、障害がより重度の第一種の方は距離に関係なく半額（本人と介護者の2名割引）に、比較的軽度の第二種の方は100キロメートルなり150キロメートルを超えると割引（本人のみの割引）がある。バスでは半額、タクシーは1割引きになり、有料道路はあらかじめ登録の手続きをするなど幾つか条件があるが半額になっている。
- Q 現在ある精神障害者の方の交通運賃割引制度は。
- A 事業者が判断し割引をすることになってお

り、JRや有料道路の割引制度はないが、湖国バス、彦根観光バス、愛のりタクシーは半額となっており、また市内のタクシーは1割引となっている。

【主な討論】

賛成 請願書の中で国連の障害者権利条約にも触れられているが、精神障害者の方が地域で生活し少しでも早く回復されるように、精神障害者の方への交通運賃割引制度は必要であり、本請願の採択に賛成する。

【結果】

- ・請願第1号は採択



予算常任委員会



市民産業建設常任委員会



企画総務消防常任委員会



福祉病院教育常任委員会

議会改革特別委員会

「質疑・質問時の動画資料掲示」を協議、「彦根市議会基本条例」の施行状況の本検討を実施

1月30日(月)に開催した委員会では、「質疑・質問時の動画資料掲示」についての協議と、「彦根市議会基本条例」の施行状況の本検討を行いました。

質疑・質問時の動画資料掲示については、わかりやすく開かれた議会を目指す有効な手段であることは認められますが、他議会を調査した結果、動画掲示を可としている議会はなく、いくつかの課題もありました。

個人情報等に対する映像処理の徹底が求められることに対しその処理を誰が行うのか、議会質問という時間的な制約がある中で映像処理を確実にできるのか、動画に対する議員の責任も明確にする必要があるなど映像処理に関する課題。現在の会議録は紙による永年保存だが、動画をどうこれに対応させるかという保存に関する課題。現状、議場の映像機器では画像を流しながら質問することが出来ず、対応機器への変更や動画保存に新たな費用が発生するという費用に関する課題などです。

これらを解決しないまま拙速に結論を出さないよう議長に答申しました。

また、施行4年目である本年、規定に従い「彦根市議会基本条例」の施行状況の本検討を行い、各条文については「概ねできている」と評価されましたが、第12条の「議員間討議」についてはあり方も含め継続した検討が必要との評価がされました。

なお、基本条例自体の見直しについては「必要なし」という意見で一致しました。

彦根市議会基本条例検討結果については彦根市議会ホームページで公開しています。

市政について
質す!

2月定例会個人質問

18人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。

配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)



各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q スポーツ・文化交流センターの
全ての工事が完成するのはいつか

A 令和6年3月末までに完成する



その他の質問

- ・旧ひこね燦ぱれすについて
- ・地区公民館の在り方検討について

Q プロシードアリーナHIKONE（彦根市スポーツ・文化交流センター）
の駐車場、外構工事等全ての工事が完成するのはいつか。

A 令和6年3月末までに完成する予定で鋭意進めている。

Q 指定緊急避難場所および指定避難所であり、地域の防災訓練等に積極的に協力できるか。

A 地域からの防災訓練、防災講習の開催の相談には、助言、協力、講師派遣など、状況に応じて積極的な支援を行う。

Q 魅力的な施設運営を行うため、どのようなPR
を考えているか。

A 指定管理者は、自主事業のスポーツ・文化講座の種類を増やすとともに、大規模大会の誘致、高校・大学の合宿等の利用促進を図る。市は、SNS等を活用し、積極的に施設のPRを行う。



▲供用開始後、外構、駐車場工事が進む、プロシードアリーナ
HIKONE



谷口 典隆議員
企画総務消防常任委員会

Q 秋のご城下にぎわい市は経済を循環
させる観点から継続すべきでは

A 一定の成果があったため今後は物
産品販売スペースを検討していく



その他の質問

- ・市立病院における医師・看護師・薬剤師の確保策について
- ・交通死亡事故多発を受けた取組について

Q 秋のご城下にぎわい市事業を廃止する理由と成果は。

A 新型コロナウイルス感染拡大に対する観光物産事業者支援の観点から令和3年度、4年度と実施した。国による各種観光支援策の実施や、インバウンドの制限緩和などの影響により、観光客が戻りつつある状況の中、一定の役割を果たしたと判断した。

成果については10月21日からの45日間で、総売上は約2,700万円。総入客数は、約12,000人であった。

Q 地域経済を循環させる観点から、継続するべきと考えるが見解は。

A 観光客のおもてなしという側面から、彦根ならではの物産品の観光客への提供は観光施策において重要なものと考えており、今後は恒常的な物産品販売スペース設置について検討していく。



▲前年比133%の売上を記録した令和4年の
秋のご城下にぎわい市



伊藤 容子議員
市民産業建設常任委員会

Q 園が空くなか第一子のみでは待機となるみなし保育枠は法の趣旨に合うか

A 第一子のみでの保護者は待機することになるが、理解してほしい



その他の質問

- ・学校外にいる子どもたち等への学びの保障について
- ・(仮称)金城こども園について
- ・高齢者の移動支援について

Q 兄弟姉妹の子どもたちを優先的に保育園に入所させるため、園が空いていても、第一子のみでは預けられないみなし保育枠は「育児・介護休業法」の目的に合うのか。

A 同法は、仕事をする人の子どもをできる限り保育所に預けられるようにするとともに、主に、事業者が講ずべき措置を定めることを目的とするもので、本事業は法の目的と異なる施策でないと理解する。

Q 再雇用・再就職を促進し、家庭と仕事の職業生活の両立を図る同法の目的に対して、保育園が空いていても第一子のみでは預けられない本事業は同法の趣旨に合うのか。

A 本事業の目的は、待機児童の解消と育児休業復帰時に兄弟姉妹が同じ保育園に通えるようにするものであり、第一子のみでの保護者は職場復帰時に待機いただくこともある。



▲保育所等利用案内での(みなし保育枠)の案内



矢吹 安子議員
企画総務消防常任委員会

Q 令和7年度から交付されるご当地ナンバープレートのメリットは

A 彦根圏域を全国にPRし、地域・観光振興、移住定住の一環となる



その他の質問

- ・新たな財源確保のためのクラウドファンディングについて

Q 地方版図柄入りナンバープレートの基準は。

A 国土交通省が定める要綱で「当該地域を表すものとしてふさわしい名称」「読みやすく、既存の地域名表示と混同しない」「原則漢字2文字」と規定されている。

Q ご当地ナンバープレートのメリットは。

A 彦根圏域を全国にPRし、圏域全体のブランド価値を高めつつ地域振興、観光振興につなげ、移住定住の一環となる。

Q 令和7年度から新車や中古車を購入し、新規に登録する場合は、「彦根」ナンバーしか使用できないことへの周知徹底は。

A 広報紙で滋賀ナンバーが選べなくなる旨を明記し周知に努めた。また、国土交通省で審査され認められた場合、令和7年度から「彦根」ナンバーの交付が開始されることを再度お知らせする。



▲図柄アンケート調査で一番人気だった「ひこにゃんと彦根城」をデザインしたナンバープレート



馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 毎月11日を「井伊の日」にしてはどうかの提言に対する見解は

A 「井伊の日」を設ける予定はないが、別の方法での取組を進める



その他の質問

- ・ライフステージ別の施策と、個別の事項について
- ・井伊直弼公の功績を尊び茶の湯・一期一会の文化を広める条例案について

Q 歩き遠足の実施や、彦根青年会議所の事業である写生大会の際に初めて彦根城に行ったという子どもたちもあり、彦根城へ登城する一つのきっかけになっている。毎月11日を井伊の日として、登城時間に制限を設けない開放日にしてはどうか。

A 文化財保護や城内の安全面の観点から開放日を設けることはできない。

Q 井伊の日には彦根で何かある。彦根が面白いと来彦者を呼び込むためにも商店街等とのコラボもいいのではないか。

A 井伊の日を設ける予定はないが、市民に彦根城を身近に感じていただくことは大切だと認識している。

Q 世界遺産登録に向けた機運醸成にもつながると考えるが見解は。

A 井伊の日を設けることは難しいが、別の方法で彦根城を身近に感じていただけるよう取組を進める。



▲市役所屋上から望む井伊の城



黒澤 茂樹議員
福祉病院教育常任委員会

Q 愛のりタクシーの停留所間での降車について市の見解は

A どのような仕組みが適切か引き続き検討していきたい



その他の質問

- ・プロシードアリーナ HIKONEの利用状況と駐車場整備の状況は
- ・指定管理者事務所に同居するスポーツ協会事務所移動の時期は

Q 愛のりタクシーの利用者層と主な行き先は。

A 利用者は70歳代以上が54.4%を占め、主な行き先は病院やショッピングセンター、JR駅となっている。

Q 愛のりタクシーをより利用しやすくするため、停留所間で降車することについて市の見解は。

A 愛のりタクシーは公共交通機関であるため、あらかじめ路線と停留所が定められており、停留所以外での乗降は法律上認められていない。

Q 日野町は「チョイソコひの」というデマンド型交通で150m間隔位に停留所を設け乗降場所を増やしているが、そのような方法は検討できないか。

A 現実的に効率的な運行を可能とする仕組みとして、どういった方法が最も適切であるのか、引き続き湖東圏域公共交通活性化協議会において検討していきたい。



▲愛のりタクシー停留所・チラシ





角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q オオバンの食害への対策は十分か

A 捕獲駆除を計画し支援していく



その他の質問

- ・地域経済対策リフォーム事業について
- ・トンネルコンポスト方式で生成した固形燃料の受け入れ先は

Q 農家がオオバンの食害対策としてネットを張ったりしているが市の支援は十分か。

A 生息域の分布調査を行い、県と調整しながら彦愛犬鳥獣被害防止計画の対象鳥獣に加え、捕獲駆除での支援を進める。

Q 県や国の支援はない。渡り鳥なので猟友会による駆除もできず、ネットを張っている。支援をしてほしい。

A 有害鳥獣として位置づけ、駆除する方向で考えている。早ければこの春から駆除を始めたい。

Q 川の両側の300メートル続く麦畑にネットを張るのは大変な作業になる。2023年度予算に有害鳥獣駆除対策事業補助金やその他経費が計上されている。この予算で支援ができないのか。

A 資材提供の予算があるが、イノシシ等のものでオオバンに対しての予算はない。



▲くちばしと額が白いオオバン



林 利幸議員
福祉病院教育常任委員会

Q 稲枝駅西口へのアクセス道路の完成時期は

A 財源確保などの課題もあり現時点で明確には答えられない



その他の質問

- ・稲枝駅西側地区の都市計画公園について
- ・彦根城跡維持管理等委託業務について
- ・ビワイチ・ビワイチプラスについて

Q 令和5年度におけるJR稲枝駅周辺整備事業の計画は。

A 稲枝西口停車場線において用地取得に至っていない土地の所有者との交渉を引続き行う。取得済みの土地には水田との境界に畦畔設置工事を行い、事業用地約2,526㎡で埋蔵文化財調査を実施する予定。また駅西口駐輪場の整備に向け関係機関と調整を行う。

Q 稲枝駅西口へのアクセス道路の完成時期は。

A 令和4年度工事で稲部本庄線は転落防止柵の設置、車道の基層までと南側歩道の舗装工事を終えた。芹橋彦富線の当該地約130mの区間では既存農道西側での埋蔵文化財調査を終えた。しかしながら完成時期については財源確保等の課題もあり現時点で明確に答えることはできない。



▲現在の稲枝西口停車場線の様子



長崎 任男議員
企画総務消防常任委員会

Q Jリーグのチーム誕生の可能性は

A 関係の方と協力しトップセールスに参りたい



その他の質問

- ・世界遺産登録に向けて彦根市として今やるべきことは
- ・機運醸成は図られているのか
- ・リスクリングについて

Q 1月に開催された金亀公園多目的競技場のオープニングイベントには、参加された来賓の皆様から、彦根から将来の日本を背負って立つプロサッカー選手の誕生を期待すると賞賛のメッセージをいただいた。この多目的競技場の特徴は。

A 整備に使用した日本サッカー協会認定の人工芝は、芝の厚みや耐久性など、現時点で国内トップレベルの製品である。

Q 平和堂HATOスタジアムを本拠とするJリーグチームの誕生の可能性は。

A 昨年、市役所を表敬訪問いただいた元サッカー日本代表の本田圭佑氏から「できることがあったら協力させてもらう」という話をいただいた。設計担当者からもJリーグ基準に十分拡張の余地はあると聞いているので、関係者と協力しトップセールスに参りたい。



▲リニューアルされた金亀公園多目的競技場



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q 市民や利用者に愛される(仮)中部館を目指すべきでは

A ご意見を伺いながら市民や利用者にも愛される図書館整備に努める



その他の質問

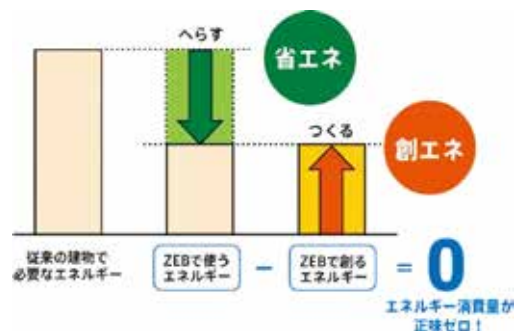
- ・彦根シティマラソンは平和堂HATOスタジアムを活用するのか
- ・市のヤングケアラー把握の結果について教育長の見解は

Q 限られた財源の中で整備する事からも建設的な意見を集め市民や利用者にも愛される図書館(中部館)を目指すべきと考えるが市の見解は。

A 司書や建築家、図書館関係者団体等の皆様による建築設計検討委員会を設置し、ご意見等を伺いながら、市民や利用者にも愛される図書館整備に努める。

Q ZEBとはネット・ゼロ・エネルギー・ビル(Net Zero Energy Building)の略称でゼブと呼ぶ。基本設計を考えるこのタイミングでZEB設計の導入を検討しては。

A 図書館整備を進める上で、環境への配慮やランニングコストの検討は、施設の管理運営においても非常に重要なことでもあり、今回のような大規模改修工事を含む基本設計においても、ZEB設計の考え方を取り入れながら、進めていく。



▲ZEB設計の考え方



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q アクティブラーニング教室の整備目的は

A 子ども自ら主体的に学び、創造的な発想で課題解決するため



その他の質問

- ・MRI増設についての詳細は
- ・深夜の看護師不足への改善方法は
- ・入院中の面会規制の緩和への考えは

Q アクティブラーニング教室の整備目的は。

A 従来の詰め込み型の学びではなく、子ども自ら課題を見つけ主体的に学び、創造的な発想で課題解決できる子どもの育成を目的とする。

Q 今後の教室使用の検討は。

A 小学校ではICT機器を活用したグループ活動等創造的で探求的な学び、中学校ではプログラミング教材を活用した創造的な学びを行う。

Q 3Dプリンタやドローン等の活用方法は。

A 3Dプリンタは美術や図工の授業・クラブ活動でも使用。ドローンは運動会等学校行事での空撮に活用。

Q その他の小学校での整備計画は。

A 令和6年10月のリース満了に合わせて整備予定。

Q 教員のスキル向上、人材確保への考えは。

A ICT教員育成講座にて教員のスキル向上と、ICT支援員の確保に努める。



▲アクティブラーニングの授業風景



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q 1枚の看板で救える命がある。看板を設置することはできないか

A 早期に看板を設置することを考えている



その他の質問

- ・市立病院の医療機器更新について
- ・矢倉川改修の推進は
- ・高根橋改修の推進は

Q 2月3日、鳥居本町の国道を横断中の自転車と彦根方面から走行

してきた自動車とが出合い頭で事故となり、女性がお亡くなりになられた。佐和山町の県道を西に入る細い道がある。この道は国道の歩道に接続されおり、以前は接続されている旨の表示がされていた。県道沿いに1枚の看板を設置することはできないか。

A このアンダーパスはわかりにくい位置にあり、利用者も限られていると認識している。国道8号を安全に横断できる道路があることを明示することは有効であるので、早期に看板を設置することを考えている。

Q いつ頃設置できるか。

A 遅くとも4月中には設置したい。

Q 周知方法は。

A 自治連合会の調整会議で文書等でお知らせし、連合会から各自治会長に周知をお願いしたい。



▲国道8号沿線歩道につながる道路



辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 前年度比3.7%減の当初予算案について、基本的な方針は

A 4つの重点項目に予算を配分した



その他の質問

- ・使用済み紙おむつの園内処理費589万円は、子育て支援の大きな一歩

Q 前年度比3.7%減の当初予算案について、基本的な方針は。

A 限りある財源の中で、リセットの視点で、徹底した事業の見直しを図った。その中で、①市民の生命、財産を守る施策、②人口増加に結びつく施策、③彦根の価値を高めるブランディングに繋がる施策、④デジタルトランスフォーメーションの推進の4つを重点項目にして予算配分した。

Q 実質公債費比率（令和3年度6.0%）は、今後どのように変化していくか。

A 令和9年度において財源不足に対応した場合は、12.8%、しない場合は、14.0%と見込んでいる。

Q ふるさと納税は歳入として寄附受入額10億円を見込んでいるが、実質収支見込みは。

A 寄付受入額から、経費を差し引いた額は約4億円の見込み。



▲令和5年度予算書・資料



上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市もがん患者に対してウィッグの補助を実施すべきでは

A 滋賀県がん患者のアピランスサポート事業を新年度から活用する



その他の質問

- ・9価HPVワクチンについて
- ・文化財の保護事業について

Q がん患者に対してのアピランスサポートは。

A 県がん患者のアピランスサポート事業は、がん患者の社会生活支援や経済的支援を行う目的として、がん治療に伴う外見変化（アピランス）を補うため医療補整具、具体的には医療用ウィッグ、乳房補整具の購入をした方に、市町が購入費用の一部を助成した場合に県が市町に対して補助金を交付するもの。

Q 本市でもがん患者に対してウィッグの補助をしては。

A がん患者のアピランスケアは療養上、非常に重要であると考えており、がん患者の社会生活の支援と療養生活の質の向上を目的に、県がん患者のアピランスサポート事業を活用し、医療用ウィッグ、乳房補整具の購入費用の助成につき、令和5年度当初予算案に計上している。



▲医療用ウィッグの一例



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 議員からのカスタマーハラスメントは

A 無理な要求を受けた件数45件



その他の質問

- ・地方公務員の守秘義務について
- ・彦根市長公式YouTubeチャンネルひこねしちよーCHについて

Q カスタマーハラスメント職員アンケート結果の概要は。

A 令和4年10月に医療職を除く全職員を対象として匿名形式で実施し、同年12月20日にこの概要を公表。回答数695人。回答率52%。このうち概ね過去5年間においてカスハラを受けた経験があると答えた職員の回答率は、54%と過半数を超えている。

Q 関係者からのカスハラは。

A 議員からの無理な要求を受けた回答があった件数45件。

Q 議員からのカスタマーハラスメントは。

A 特定の市議会議員から職員に対し、特定の職員の人事配置を要求された事案。行き過ぎと思われる発言を伴って要望された事案。長時間同じ要求を繰り返されたことにより職務の遂行に支障をきたした事案などがあつた。



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 学校給食で出る生ごみも減らす努力と必要性を伝えるべきでは

A 「使い切り」「食べきり」「水切り」が大切で対策をしている



その他の質問

- ・生活困窮者自立支援事業と生活保護制度は相談者の希望に沿えるか
- ・市の「加齢性難聴の補聴器」支援を

Q 小学校給食での残食と処理は。

A 廃棄率は1日平均5.9%で、学校から排出される他の可燃ごみと合せて廃棄。

Q 学校の生ごみの処理も「3キリ」の努力と必要性を伝え実施すべきでは。

A 「使いキリ」は、食材の厳密発注、切り方等の注意。「食べキリ」は調理の工夫や栄養ある食事の大切さを教え残食を減らす。「水キリ」は野菜くずや残食をできるだけ水切りして排出量を減らす。このことを推進していく必要性があり、調理委託業者、子どもや保護者の協力と周知していくことが大切。

Q 生ごみ処理機の活用で畑や花壇での堆肥化を実現すべきでは。

A 大型処理機は場所、業務負担、維持管理費用が課題。現在、城陽小学校のみバイオ方式の処理を行っているが量が多く難しいと聞いている。



▲給食の生ごみも廃棄からリサイクルへ
(仙台市ホームページ)



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q コロナ禍での通所介護事業所等への支援は

A 利用者の送迎等車両の燃料費用に対して給付を実施



その他の質問

- ・ペット問題について
- ・令和5年度一般会計当初予算案について
- ・井伊直弼公茶の湯条例案について

Q コロナ禍での通所介護事業所等への支援は、どうなっているか。

A 利用者の送迎等に使用する車両の燃料費用に対して、今年度1年間の燃料費として、車両1台当たり12,000円の給付を行った。

Q 物価高やエネルギー高騰の中、追加の支援は考えていないのか。

A 現在のところ、給付金等の追加支援は予定していないが、今後も世界的な物価高の情勢や経済状況の把握に努め、国や県、他市町の動向にも注視していく。

Q 緊急時に低利での融資制度は考えられないか。

A 資金融資制度については、現在、独立行政法人福祉医療機構が「福祉貸付事業」を実施しており、令和4年11月7日には優遇融資を実施するメニューが新たに追加された。本市独自の資金融資制度は、実施する予定はない。



▲市内事業所の送迎用リフトバス



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 積雪時、鉄道の踏切や道路の除雪、市民の声への対応は

A 関係者との連携や除雪体制の強化、市民の声への対応を図っていく



その他の質問

- ・障害者も安心して心豊かに暮らせる街への取組は
- ・自由通路の維持管理は
- ・通学路等の危険箇所への対応は
- ・河瀬公園の整備は

Q 積雪時、鉄道の踏切は雪でかなり凸凹になり通行に危険を感じるが今後の対策は。

A 今後踏切の管理者であるJR西日本や近江鉄道と連携を図るため、来季の雪害対策期間までに協議を進める。

Q 今冬の積雪時、市立病院への救急搬送や市民生活への悪影響を十分低減するだけの除雪対応はできたか。

A 今季から市立病院前の市道を1社が専属的に担い、また業者や除雪車両も増やして除雪体制の強化を図り、大きな通行障害は生じておらず除雪対応はできたと考える。

Q 除雪が上手くできていないとの声を聞く事もあるが、除雪技術の向上や均質化は。

A 市民からの声を頂いたら必要に応じ再度除雪を依頼するとともに、契約車両の状況にあわせ路線の割り当てや機械の配置について検討していく。



▲除雪車両による作業の様子



議会運営委員会による先進地視察報告

1 1月24日(火) 埼玉県久喜市「通年議会・日曜議会等について」

久喜市では、令和4年5月から通年議会を実施しています。緊急時等の突発的な課題に、議会が機動的に対応できることや、議会の権限が強化されるというメリットがある一方で、事務量の増加や日程調整などのデメリットもあるとのことでした。当市議会でも、今後検討を進める必要があり、大変参考になる視察となりました。



2 1月25日(水) 埼玉県戸田市「委員会の年間活動テーマ設定と運用等について」



戸田市では、平成21年から委員会の年間活動テーマを設定して活動しておられました。それにより、各委員会が能動的に活動をするようになり、活発化したとお話いただきました。その他、令和4年11月からはオンラインで中学生との意見交換会を開催され、中学生から市や議員への思い等、率直な意見を引き出しておられ、当市を支える若者から見た彦根市はどう見えているのか、どうしたいのかを教えてもらうことが重要だと改めて感じました。

議員研修会を実施しました

議員人権研修会

○令和4年12月26日(月)
午後1時30分～午後3時

彦根市議会では、市民の代表としてより研ぎ澄まされた人権感覚を養うため、年に1回議員人権研修を実施しています。

今回は、京都精華大学 国際文化学部長 山田 創平 教授を講師にお迎えし、「LGBTを考える～多様性への理解を深める～」をテーマにご講演いただきました。



LGBTの基本的な考えをはじめ、本市でも実施しているパートナーシップ宣誓制度についてもお話いただき、私たち議員から発信できることがあることも改めて認識できました。

彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会

○令和5年1月18日(水)

午前10時～午前11時30分

多賀町中央公民館 多賀結いの森で開催された議員研修会に、周辺4町（愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町、甲良町、多賀町）の議員と共に参加しました。



「持続可能な地域づくりの推進に向けた自治体議会の政策形成機能の強化」と題して、滋賀県立大学 環境科学部 平岡 俊一 准教授から自治体議会による政策形成に関する国内外の事例などをご紹介いただきながら、自治体議会には何が期待されているのか、議会として政策を考える際に押さえるべきこと等を学びました。

市議会議員研修会

○令和5年1月26日(木) 午前10時30分～正午

彦根・愛知・犬上市町議会議長会研修会の実践編と位置付けて、「観光分野での政策形成を考える～彦根城に頼らない観光活性化～」をテーマに、滋賀県立大学 環境科学部 平岡 俊一 准教授にご指導いただきました。



研修ではグループに分かれて、地域資源と課題を整理し、「議会ができる取組は何か」を熱心に話し合いました。

議会として課題解決等にチームで取り組むことの大切さ、また、行政とは異なる視点・手法で施策や事業の提言をすることが議会の強みになっていくことを学びました。

彦根市議会

議会
広聴

の日

「出張！議会広聴の日」 を開催しました

『議会広聴の日』は、普段市民の皆さまが考えている市政へのご意見について、市議会議員と気軽にお話しただける「意見交換の場」です。

今回は、令和5年2月7日（火）正午から午後4時まで、アル・プラザ彦根4階のみんなの広場にて実施しました。



7組12名の方々にお越しいただき、図書館運営等に関するご意見をお聞かせいただきました。また、アンケートに33名、クイズに8名の方々にご回答くださいました。

いただいたご意見は、今後の議会活動に生かしてまいります。

編集後記

2月27日に開会し、令和5年度の彦根市の当初予算の審査も含め3月24日に閉会した2月定例会では、第21期の最終の定例会となり、4年間の議員活動や議会の質問の総括の意味合いもあって活発な議論がなされました。

それぞれの議員が市民の皆さんの声に耳を傾け、懸案や課題について精いっぱい活動したことで解決したこと、彦根の進むべき方向へと導いたことなどが大きな足跡となりました。

新たに第22期がスタートしましたが、引き続き市民に寄り添いながら精進いたしますので彦根市議会へのご理解をよろしくお願い申し上げます。

広報委員会



次の定例会は
6月です

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
6月 5日（月）	開 会	9：00
6月12日（月）	個人質問	9：00
6月13日（火）		
6月14日（水）		
6月16日（金）	予 算 常 任 委 員 会	9：30
6月19日（月）	企画総務消防常任委員会	9：30
6月20日（火）	福祉病院教育常任委員会	9：30
6月21日（水）	市民産業建設常任委員会	9：30
6月26日（月）	閉 会	9：00